

1. 圏域の概要

(1) 水産業の概要

① 圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

伊豆南圏域は、伊豆半島最南端の石廊崎をはさみ、相模灘側の東伊豆町から駿河湾側の西伊豆町を範囲とし、東伊豆町、下田市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町の地先である。

圏域内の漁業協同組合は合併が進んだ結果、伊豆漁協のみとなっている（伊豆漁協は平成 20 年 9 月に稲取漁協を含む 6 漁協の合併で発足し、その後、平成 21 年 3 月に 2 漁協を吸収合併して現在に至っている）。

② 主要漁業種類、主要魚種の生産量、資源量の状況

伊豆東岸では良好な漁場を控え、東伊豆町稲取地区では一本釣りを主体に、刺網、採介藻などの沿岸漁業が営まれ、キンメダイ、イセエビ、アワビ、サザエ、テングサ等の漁獲物が水揚げされている。下田地区は一本釣、刺網、採介藻等の沿岸漁業と、底立てはえ縄の沖合漁業が営まれ、キンメダイ、イセエビ、アワビ、サザエ、テングサ等の様々な漁獲物が水揚げされる。キンメダイの水揚量は年間 900 トンと下田市魚市場の取扱量の 70%以上を占めている。南伊豆地区は、伊豆半島南端に位置し、刺網、採介藻、一本釣の沿岸漁業が営まれ、主な漁獲物はイセエビ、サザエ、アワビ及びテングサである。イセエビは年間 30 トンと県下一の水揚げ量を誇り、サザエ、アワビなどの貝類も約 40 トンの水揚げがある。西伊豆地域はイカを主とした一本釣、エビの刺網及びテングサを主とした採介藻業が営まれている。

③ 水産物の流通・加工の状況

圏域内の産地市場は、下田市魚市場、稲取魚市場及び田子魚市場が存在する。

下田地区では市場隣接地に「市場の食堂金目亭」を開店し（平成 25 年）、市場で仕入れた新鮮なキンメダイを P R している。稲取地区は漁港施設内に農林水産物直売所「こらっしえ」を令和元年にオープンし新鮮な水揚物を販売することで、観光産業の活性化にも貢献している

また稲取地区及び下田市須崎では、立縄釣りで日戻り操業し品質管理を徹底したキンメダイを、主として首都圏の消費地市場に共同出荷することでブランド化を

図っている。

さらに下田地区ではアワビ及びイセエビの、南伊豆地区（妻良、小稲）ではサザエ、アワビ及びイセエビの蓄養を行い、伊豆地域だけでなく首都圏を中心に販売を行っている。稲取地区ではイセエビのほとんどを南伊豆地区に出荷し、アワビ、サザエは地元消費がほとんどである。

テングサは各地区で集荷されたのち、下田で開催される共販入札会で販売されている。

なお西伊豆地域は市場のない地区が多く（松崎、仁科、安良里及び土肥）、水揚げの集約や出荷体制の効率化が課題となっている。

④ 養殖業の状況

該当なし

⑤ 漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

漁業経営体、漁業就業者の状況について以下に示す。少子高齢化や若者の都市圏への流出などを背景に漁業就業者数は年々減少傾向にあり、今後も同様の傾向が続くものと推測される。

漁港名	組合員総数	正組合員数	准組合員数	漁業経営体数
大川漁港	103	7	96	7
北川漁港	71	10	61	10
白田漁港	113	4	109	3
片瀬漁港	74	0	74	0
稲取漁港	777	59	718	53
下河津漁港	447	38	409	0
白浜漁港	447	316	161	22
外浦漁港	118	19	99	18
須崎漁港	368	292	76	58
下田港	-	-	-	-
吉佐美漁港	237	35	202	14
田牛漁港	95	71	24	14
手石港	-	-	-	-
小稲漁港	162	58	104	22
下流漁港	162	58	104	43
大瀬漁港	85	55	30	41
石廊崎漁港	80	43	37	19

漁港名	組合員総数	正組合員数	准組合員数	漁業経営体数
三坂漁港	110	89	21	29
妻良漁港	220	68	152	23
伊浜漁港	99	81	18	22
雲見漁港	69	30	39	15
石部漁港	58	7	51	6
岩地漁港	66	19	47	5
松崎港	-	-	-	-
仁科漁港	602	90	512	69
田子漁港	288	67	221	63
安良里漁港	298	56	242	0
宇久須港	-	-	-	-

⑥ 水産業の発展のための取組

当圏域内では漁業と民宿の兼業が多く、妻良漁港や須崎漁港等において、全国に先駆けて体験修学旅行（漁船体験、地引網、干物づくり等）を受け入れるなど、観光と組み合わせた取り組みを行っている。

また、磯根資源については、伊豆半島沿岸の漁業者は漁業調整規則に基づく漁獲物の体長制限や漁期の制限があり、資源管理に努めている。また、アワビやマダイの種苗放流を行う栽培漁業を行っている。

⑦ 水産基盤整備に関する課題

当県域内の各漁港では漁業者の高齢化が進んでおり、就労環境の改善が必要となっている。なお、安良里漁港は、漁業者の高齢化とともに漁業の衰退が進んでいることから、プレジャーボート係留施設やダイビング施設の整備も含め、漁業と観光の相乗効果による地域の活性化が課題となっている。

また、須崎漁港では港内静穏度の低さに伴う下田港への避難の解消が課題となっている。

⑧ 将来的な漁港機能の集約化

集約化の予定無し。

(2) 圏域設定の考え方

① 圏域タイプ	流通拠点型	設定理由； 下田市魚市場を擁する下田港を拠点とする圏域。
② 圏域範囲	東伊豆町から西伊豆町にかけての伊豆半島南端部	設定理由； 多くの漁港でイセエビやテングサ、貝類などの沿岸漁業が盛んである。主に下市内、南伊豆町内各漁港からの陸揚を担う下田港を中心とした一体性を有する範囲。
③ 流通拠点漁港	該当なし	設定理由；
④ 生産拠点漁港	稲取漁港（第2種） 妻良漁港（第4種） 安良里漁港（第2種）	設定理由； 稲取漁港は沿岸のキンメダイ一本釣りの拠点である。また、妻良漁港は伊豆半島南端の避難港として重要な拠点となっている。 両港ともに、耐震強化岸壁を有しており、伊豆半島南岸地域が被災した場合の復旧拠点の一つであるため、災害時の漁港利用者の避難誘導計画を策定する。 安良里漁港は沿岸、近海、遠洋漁業等の基地として多くの漁船が利用している。
⑤ 輸出拠点漁港	該当なし	設定理由；

(令和元年)

圏域の属地陸揚量(トン)	1,493
圏域の総漁港数	24
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	1

圏域の登録漁船隻数(隻)	1,018
圏域内での輸出取扱量(トン)	

当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量（収穫量）(ト)	
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業産出額(百万円)	

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

①流通拠点等の機能強化

白浜漁港では、船揚場での準備作業・陸揚げ作業を解消し、効率的な漁業活動が行えるようにする。

安良里漁港では、漁業と観光による地域振興に資するための施設整備を進める。

西伊豆地区では仁科漁港を流通拠点として位置づけ、各地域の水産物を集約することにより魚種、取扱量を充実させ、効率的な出荷に努める。

下田魚市場では荷さばき所の衛生管理と鮮度管理を徹底し、品質及び魚価向上に努めているが、今後は荷さばき施設の整備の再開に向け、計画検討を行う。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に対応した漁場生産力の強化

当圏域の漁獲資源の増加や漁業の効率化を目指すだけでなく、生態系全体の生産力を底上げし、水産生物の生育の場としての水域環境の整備を推進する。また、資源管理や栽培漁業と連携した漁場整備に努め、一層の資源増産を図っていく。漁獲統計の解析やモニタリング調査等により海洋環境変化の把握にも努めていく。

②災害リスクへの対応力強化

避難港である妻良漁港では、地震・津波時における背後集落の被害を軽減させるとともに、被災時には速やかに復旧できる方策を講じていく。また、稲取漁港、妻良漁港、田子漁港は、伊豆半島南部地域の防災拠点港湾である下田港を補完する防災港湾に位置づけられており、稲取漁港、妻良漁港にあっては、耐震強化岸壁も整備済みであるが、今後、更なる防災機能の強化として、防波堤の耐震化や粘り強い化に努めていく。

須崎漁港では、港内静穏度を向上させ、下田港への避難回数の低減を目指す。

田牛漁港では、港内埋没防止対策により、安定した漁業活動の確保を図る。
 妻良漁港、三坂漁港では、老朽化した漁業集落排水施設の設備更新を実施する。
 稲取漁港、妻良漁港、吉佐美漁港、雲見漁港、仁科漁港、田子漁港、安良里漁港
 では、老朽化した漁港施設等の持続可能なインフラ管理を行うため機能保全計画の
 見直しや、予防保全型の老朽化対策へ転換した補修などを実施し機能回復に努めて
 いく。

妻良漁港、三坂漁港、田牛漁港、岩地漁港では、漁業集落排水施設の機能保全計
 画に基づき適切に維持管理していく。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

当圏域内では漁業と民宿の兼業が多く、妻良漁港や須崎漁港等において、全国
 に先駆けて体験修学旅行（漁船体験、地引網、干物づくり等）を受け入れるなど、
 観光と組み合わせた取り組みを行っている。

漁港施設の適正な維持管理により、当該圏域の魅力を保ったまま、更なる体験
 型観光の受入を図っていく。

② 女性など多様な担い手の活躍

妻良漁港、三坂漁港では、老朽化した漁業集落排水施設等の設備更新により
 生活環境の改善を図っていく。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 流通拠点等の機能強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点

② 養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・漁場名	種別	流通拠点

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に対応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
南伊豆町伊浜	藻場保全事業	水産多面的機能発揮対策事業
南伊豆町上小野	サンゴ礁保全事業	水産多面的機能発揮対策事業

② 災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
妻良	安全・安心	機能強化	妻良	4	—
稲取	安全・安心	機能強化	稲取	2	—
妻良	予防保全	機能保全	妻良	4	—
稲取	予防保全	機能保全	稲取	2	—
吉佐美	予防保全	機能保全	吉佐美	1	—
雲見	予防保全	機能保全	雲見	1	—
仁科	予防保全	機能保全	仁科	1	—
田子	予防保全	機能保全	田子	2	—
安良里	予防保全	機能保全	安良里	2	—
妻良	予防保全	漁村整備	妻良	4	—
三坂	予防保全	漁村整備	三坂	1	—

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得の向上

① 「海業」による漁村の活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

② 女性など多様な担い手の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
妻良	予防保全	漁村整備	妻良	4	—
三坂	予防保全	漁村整備	三坂	1	—

4. 環境への配慮事項

当圏域は富士箱根伊豆国立公園に指定され、国指定の名勝もあり風光明媚な地域である。また、平成 28 年 11 月には、駿河湾が世界で最も美しい湾クラブに加盟し、駿河湾に面する漁港の風景は、新たなブランド力を持つに至っている。

各施設の整備にあたっては、周辺海域の環境を調査して生態系に与える影響に配慮するとともに港内泊地の水質の悪化を防ぎ、海水交換を阻害しない構造を積極的に採用して、周辺海域の環境と調和を図る。

5. 水産物流通圏域図

添付のとおり

6. 当該圏域を含む養殖生産拠点地域図

該当なし

7. 漁港ごとの役割や機能分担及び漁港間での連携の状況を示す資料

添付のとおり

8. その他参考となる資料

添付のとおり

静岡県 水産物流通圏域図 (R4~R8)

- : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)
- ◎ : 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港)
- : 一般漁港
- : 港湾 (漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)
- ☆ : 産地市場
- 漁業: 主な魚種
(主な漁業種が、(巻き網・底引き網等))
(魚類、甲殻類、軟体動物、養殖魚類) の場合は示す
- ← : 水産物集約 (漁船陸揚げ)
- ←... : 水産物集約 (陸送)
- ⇄ : 加工場・消費地への出荷
(主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、
県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等
をできる限り示す。)
- ← : 養殖に係る水産物の流れ
- : 養殖漁場

